



令和3年度

教育委員会事務点検・評価報告書

はじめに	1
1 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員会定例会	2
(2) 総合教育会議	5
(3) その他	5
2 教育委員会における事務の管理・執行状況	
(1) 学校教育	6
(2) 生涯学習	9
(3) 芸術文化の振興と文化財保護	10
(4) 生涯スポーツ	10
3 外部委員評価	11

2022年5月

井川町教育委員会

はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが定められました。

本報告書は、第26条の規定に基づき、本町教育行政の充実発展を目指すとともに町民への説明責任を果たすため、達成度を評価したものです。

第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委託された事務を含む）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

評価スケジュール

- 2月 教育委員及び事務担当の自己評価
- 3月 外部評価委員へ評価の依頼
- 4月 評価結果のまとめ及び教育委員会定例会で評価を議決
- 6月 評価結果を6月議会に提出
- 7月 評価結果の公表（井川町ホームページ）

対象事業

- ・教育委員会が直接関与している事業或いは活動している事業を「教育委員会の活動状況」とします。
- ・教育委員会が管理・執行している事務事業や教育長に委任している事務を「教育委員会における事務の管理・執行状況」とします。

点検評価基準

A	達成している ねらいに沿った具体的成果が表れている
B	おおむね達成している 具体的な成果が表れているが改善の余地がある
C	達成していない 事業の見直しを含めた検討が必要である

外部評価委員について

点検・評価内容の客観性を確保するため、教育に関して学識を有する外部委員に意見と総評をいただきます。外部委員には、平成31年教育委員会4月定例会で石井昭廣氏（八幡）を議決し、今年度も引き続き評価をいただきました。

1 教育委員会の活動状況
 (1) 教育委員会定例会

月	開催日	審議内容
4月定例会	4月27日(火)	<p>【議決事項】 (第14号) 令和3年度井川町教育方針について議決した。 (第15号) 井川町立井川義務教育学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則を制定した。 (第16号) 令和3年度準要保護児童生徒の認定を行った。</p> <p>【報告事項】 ・東北六県市町村教育委員連合会研修会の中止について ・教育委員会・公民館・学校関係行事予定(5月分)</p> <p>【協議事項】 ・学校に係る新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインを協議した。 ・修学旅行・宿泊学習のガイドラインを協議した。</p> <p>【義務教育学校校長等との懇談】</p>
5月定例会	5月24日(月)	<p>【議決事項】 (第17号) 井川町公民館運営審議会規則の一部を改正する規則を議決した。</p> <p>【報告事項】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う教育委員会及び学校の対応 ・第一回井川町社会教育委員の会議兼公民館運営審議会の協議結果 ・「洲崎遺跡」副読本制作の進捗状況 ・町教委、公民館、学校関係行事予定(6月分) ほか</p>
6月定例会	6月28日(月)	<p>【議決事項】 (第18号) 井川町学校応援協議会規則の一部を改正する規則を議決した。 (第19号) 井川町スポーツ交流館規則を廃止する規則を議決した。 (第20号) 招致外国青年就業規則の一部を改正する規則を議決した。 (第21号) 令和3年度準要保護児童生徒の追加認定を行った。</p> <p>【報告事項】 ・令和3年度第2回井川町議会定例会教育委員会関連答弁 ・中学校地区総体等の結果 ・令和3年度井川町二十歳の集い(仮称) ・町教委、学校、公民館関係行事予定(7月分) ほか</p>
7月定例会	7月26日(月)	<p>【議決事項】 (第22号) 令和4年度中学校教科用図書を採択した。</p> <p>【報告事項】 ・教員の勤務時間超過に係るヒアリング状況 ・第二回井川町学校応援協議会協議内容 ・夏休み体験事業の内容 ・令和3年度井川町二十歳の集い概要 ・全県中学校総体等の結果 ・町教委、公民館、学校関係行事(8月分) ほか</p>

月	開催日	審議内容
8月定例会	8月31日(火)	<p>【授業視察・学校との意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校全学年3校時授業の一巡と意見交換 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月実施の教育委員会主催事業結果 ・全国学力学習状況調査結果 ・県地域連携研修会報告 ・敬老作文審査結果 ・町教委、公民館、学校関係行事予定(9月分) ほか
9月定例会	9月27日(月)	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井川町教育委員の任命(小武海委員) ・義務教育学校の人事案件 ・9月定例町議会教育委員会関連質問等 ・全県教育長会議に係る協議テーマ ・義務教育学校教員の状況報告 ・リーディングスキルテスト結果 ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(10月分) ・各種大会等の結果 ほか
10月定例会	10月25日(月)	<p>【授業視察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校3年生の慶応義塾大学とのオンライン授業 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校人事案件 ・洲崎遺跡副読本制作の進捗状況 ・海外修学旅行計画の進捗状況 ・冬休みオンライン子ども教室の概要 ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(11月分) ほか <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議提案予定の教育中期計画(案)について協議した。
11月定例会	11月30日(月)	<p>【授業視察及び義務教育学校校長等との懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校前期集会活動参観と懇談 <p>【議決事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(第23号)井川町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則を議決した。 ・(第24号)井川町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則を議決した。 ・(第25号)井川町教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則を議決した。 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度教職員人事構想(案)の方針等について協議した。 ・部活動のあり方について協議した。 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒事故報告 ・全県市町村教育長会議の内容 ・教育支援委員会審査結果 ・全県中学校秋季大会結果 ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(12月分) ほか

月	開催日	審議内容
12月定例会	12月20日(月)	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月定例議会教育委員会関連質疑内容 ・義務教育学校における社会性の伸長についての調査結果 ・義務教育学校の進路状況 ・学校保護者アンケート結果 ・学校部活動の入部状況 ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(1月分)について ほか
1月定例会	1月25日(火)	<p>【授業視察及び校長等との意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校全学年の3校時授業参観と協議 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校の進路状況(1月末現在) ・令和3年度県学習状況調査結果 ・第2回教職員研修会内容 ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(2月分) ほか
2月定例会	2月28日(月)	<p>【議決事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(第1号)令和4年度教職員の異動に係る内申について議決した。 ・(第2号)井川町就学援助規則の制定について議決した。 ・(第3号)井川町井川義務教育学校管理規則の一部を改正する規則について議決した。 ・(第4号)義務教育学校卒業式告示について議決した。 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度教育委員会事務点検・評価について協議した。 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校の進路状況 ・学校応援協議会における学校評価 ・農村環境改善センター灯油漏れ事故の概略 ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(3月分)について ほか
3月定例会	3月28日(月)	<p>【議決事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(第5号)令和4年度井川町教育委員会職員の異動に係る内申について議決した。 ・(第6号)井川町義務教育学校入学式告辞について議決した。 ・(第7号)井川町教育委員会事務点検・評価について議決した。 ・(第8号)学校給食費の改定について議決した。 ・(第9号)令和4年度就学援助児童生徒の認定をおこなった。 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年第一回井川町議会定例会の一般質問等 ・井川義務教育学校の進路先最終報告 ・児童生徒の新型コロナウイルス感染確認に伴う対応 ・社会教育委員の会議「井川町各種スポーツ大会のあり方について(答申)」 ・教職員多忙化防止計画に係る現状 ほか

(2) 井川町総合教育会議

開催日	案件
12月20日(月)	<ul style="list-style-type: none">・協議<ul style="list-style-type: none">※ 義務教育学校の部活動の中長期的なあり方(部活動数の維持、生徒希望競技の尊重、土日の地域人材指導者への指導移行)について方向性を明文化しました。・意見交換<ul style="list-style-type: none">※ 文化財保護、義務教育学校の教育内容等、井川町の教育充実のための議論が行われました。・その他

(3) その他

- ・義務教育学校授業参観(8月31日、10月25日、11月30日、1月25日)
- ・井川町教職員研修会(第1回4月2日、第2回1月12日)
- ・諸行事参観(入学式、学校祭、卒業式)

2 教育委員会における事務の管理・執行状況

(1) 学校教育

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あたたかな心 夢ときめく ひとづくり</p>	<p>学力の向上</p>	<p>×対話や討論のある授業が展開されている。 ※対話はよく行われているが、討論については中期や後期でそのレベルまで達していないことが多い。</p> <p>×授業がよくわかる。(全校平均3.4以上) ※全校平均が3.3と目標を下回った。</p> <p>○学力調査が県平均を上回る。 ※12月調査で、全体で県平均を2.1ポイント上回った。</p>	<p>《全員配付タブレットによるデジタル教科書の活用》 令和3年度「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」により、前期課程に算数、後期課程に英語のデジタル教科書を導入した他、国語のデジタル教科書を試験的に取り入れICTを活用した教育を推進した。</p> <p>《「洲崎遺跡副読本」の制作》 「洲崎遺跡副読本制作委員会」を立ち上げ、6年生～8年生の児童生徒が総合的な学習の学びを深めることができるよう、町で発掘された洲崎遺跡を教材化した副読本を作成。令和4年度から実際に授業で使用する予定。</p> <p>《武埴三山の著作による国語科等への活用》 令和2年度に作成した当該副読本を今年度は実際に6年生～9年生の授業で活用した。一部学年の授業では六郷博志教育長が特別授業を行った。</p> <p>《リーディングスキルテストの実施》 文章を正しく読むことができなければ教科の内容を理解することができないという、文章を読み解く力を測ることを目的としたリーディングスキルテストを6・7・8年生と教員が受検を行い、結果に基づき読解力を伸ばす授業の研究に役立てる。</p> <p>《職員研修への外部講師（獲得研講師）派遣》 弘前大学宮崎教授より義務教育学校教職員向けに、総合的な学習の時間でのアクティビティの活用を図るためのワークショップを開催し、探究的な学習の進め方について研修を実体験した。</p> <p>《学習支援員の配置》 昨年度に引き続き、英語と数学の授業においての学習支援員を配置し、ITにより子ども達に学習支援を行った。</p> <p>《ICT支援員の配置》 昨年度より継続し、週2日実施した。教員等へのICT機器操作研修や指導、授業開始時の機器設定や授業中の操作補助等幅広く支援していただき、児童生徒及び教員等へ学校のICT化へのサポートを実施した。</p> <p>《図書カードの贈呈や学校図書館図書費の充実》 例年同様夏休み中の読書活動充実のため、児童生徒に図書カードを配布した。また、昨年度末に学校図書館に図書システムを導入し、今年度から図書の登録作業を行っている。活用に向けて引き続き作業を進めていく。</p>	<p>A</p>

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あた た か な 心 夢 と き め く ひ と づ く り	社会性 の 伸 長	×社会的事象や出来事への関心が 高くなる。 ※全国学習状況調査で、「社会を よくするために何をすべきか考 えている」という質問に、県平均と 比較して6年生は-3.1ポイン ト、9年生は-16.3ポイントだ った。 ○他学年と協力したり仲良くする などの関係が強くなる。 ※社会性測定調査での上記の質問 に、前年度に比べて0.07ポイント 上昇した。	《動物ふれあい学習・日本海体験講座の実施》 大森山動物園でのふれあい学習には1～3年生の児童が 50人、あきた白神体験センターでの日本海体験には4～ 6年生の児童が34人参加した。動物とのふれあいや海で シーカヤックや海水浴など様々な体験活動を行った。 《異文化体験学習の実施》 7年生の生徒18人が参加し、国際教養大学の校内見学 や学生との交流、秋田空港の見学を行った。様々な異文化 に触れ、学びの多い体験学習であった。 《海外修学旅行の研究・視察》 コロナウイルス感染症対策のため視察の実施には至って いないが、旅行行程や概算費用を保護者へ示すための準備 が整った状況である。今後の状況によりさらに検討を重ね る。 《井川みらい学への外部講師招聘》 毎年地域の方が講師となって3年生の児童に対して願人踊 りを指導。井川みらい学の発表会で披露された他、8年生 に元秋田県埋蔵文化財センター所長の高橋学氏を迎え、洲 崎遺跡の発掘について講話会を実施した。 《放課後拡充カリキュラムの実施》 全学年で午後の授業を週2コマ減らし放課後を早め、学 力向上のために学習に集中すること、放課後の自主的な活 動を充実させること、教師の授業研究や事務業務が出来る ようにすることを目指し、新カリキュラムを導入し、児童 生徒、教員ともに一定の成果を収めることができた。 《QUの全学年の実施・社会性測定尺度による社会性調査 の実施》 今年度も全校で児童生徒の自己評価による社会性測定用 尺度を参考に、井川町の子どもたちの社会性の状況調査を 実施した。今年度で3年目となり、経年変化からの検証を 行った。	A
温 か な 心 ・ 健 康 な 体	温 か な 心 ・ 健 康 な 体	○生命尊重や思いやりに関する 意識が高まる。 ※社会性測定調査「みんなが仲良 くなれるよう働きかけることがで きる」が前年に比べて0.07ポイン ト上昇した。 ○生活習慣改善や運動する意欲が 向上する。 ※検診研究チームによる塩分摂取 調査で、尿検査の提出率が78%と 前年と同水準だった。	《いきものふるさと水槽事業への支援》 はちろうプロジェクトや大学機関と連携して、水槽に水 草を植えたり水質調査を行ったりした。川の生き物や水質 に関心をもつきっかけづくりとなった。 《町健康教育副読本の活用への支援》 全児童生徒と保護者に向けた尿検査とアンケート調査を 行った。今年で3年目の実施となった。昨年度と塩の量を 比較したり、保護者と一緒に家庭での食生活を振り返りを してもらえよう結果表を返却している。 《町の健診と連携した講座や健診見学の実施》 健康副読本を使って学習を始める4年生に向けて、慶應 義塾大学医学部の4年生がZoomを使用してオンライン授業 を行った。双方向で質疑応答や意見発表をしたりしなが ら、塩分について学んだ。 《職員対象のストレスチェックの実施》 全教職員を対象に年2回実施した。自分自身のストレス 状態の把握や自身のセルフケアに役立てるため実施。全体 の状況を学校の管理職とも共有した。 《県医師会と連携した運動の取り組みへの支援》 体育の授業での準備体操でロコモ体操を行った。下肢の 柔軟性、筋力アップやバランスアップを目的に音楽に合わ せて楽しく取り組んでいる。	A

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あたたかな心 夢ときめく ひとびくら</p>	<p>地域とともにある充実した学校</p>	<p>×学校応援協議会の提言に対応している。 ※「町民体育大会で踊る子供向けダンスの講習」「複数学級担任制の拡大」などの提言中、実施は「井川讃歌コンサートへの委員招待」の一つだった。</p> <p>未 学校給食の町内産野菜使用率が向上する。 ※ 今年度分の使用率は3月末にまとめる予定</p>	<p>《井川みらい学の新プログラムへの支援》 弘前大学宮崎教授より義務教育学校教職員向けに、総合的な学習の時間（井川みらい学）でのアクティビティの活用を図るためのワークショップを開催し、探究的な学習の進め方について研修を実体験した。</p> <p>《学校応援協議会の運営と充実》 今年度から委員の方々が学校のことについて、より知る機会を設けようと学校の授業参観を実施したり、給食の試食などを行った。学校の様々なことについて地域の人達と意見交換を行い、よりよい学校づくりについて協議を行った。</p> <p>《教育支援委員会による子ども・保護者への支援》 特別な支援を必要とする児童生徒や保護者について地域・学校・教育委員会等が一緒になって情報共有やどんなサポートが必要なのか協議し、1人1人の教育的ニーズに応じた支援を行った。</p> <p>《幼小連絡会議による連携事業の展開》 今年度からは児童だけでなく教職員同士もより連携を図ろうと、こどもセンターと学校に教職員がそれぞれ訪問し、授業や生活の様子を参観し、連携について協議を行った。</p> <p>《教職員研修会（年3回）の実施》 4月に、第5次井川町総合振興計画の学校教育関連及び小規模義務教育学校の未来について実施し、8月に新任教職員の2名について井川町の目指す教育の概要の理解及び、ふるさとの自然や文化、産業、歴史等にふれ、井川町義務教育学校教職員としての資質向上を目指すために実施。1月に総合的な時間の学習でのアクティビティの活用を図るためのワークショップを弘前大学教育学部教授 宮崎充治先生を講師に迎え実施した。</p> <p>《通学路の安全確保とスクールバスの安全な運行》 全国的に発生している通学路の事故により、一層の安全点検を実施するため、見通しの良い直線道路の安全点検を8月に実施し、これまでの安全推進会議委員の他、秋田地域振興局建設部からも参加していただき開催した。スクールバスの運行については、児童生徒の冬期間の安全を確保すべく一部の停車位置を変更し今年度は円滑に運行された。</p> <p>《学校給食供給システムの検討と改善》 毎月産直生産グループの代表者との打ち合わせを行っている。井川産の野菜や果物を献立に多く取り入れて給食で提供し、おたよりや掲示、放送等で食材について紹介している。</p>	<p>A</p>
<p>課題と今後の方向</p>			<p>多くの具体的取組によって、学力向上や社会性の伸長など精力的に学校に働きかけることができた。ただ、学校の教職員の受け止めが不十分で到達目標を達成できないものもいくつかあった。 今後も重点に沿って積極的に事業を実施していくとともに、特に学校管理職に町の方針を十分に理解させて、教職員に方向性がきちんと浸透するよう努力を続けたい。</p>	

(2) 生涯学習

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あたたかな心 夢ときめく ひとづくり</p>	<p>豊かで楽しい学習機会の保障</p>	<p>評価なし 各種事業の満足度が向上する。 ※ 今年度もコロナ禍で高齢者大学などの開催ができなかった。</p> <p>評価なし 参加者の減少に歯止めがかかる。 ※ 諸行事の開催中止で評価ができなかった。</p>	<p>《社会教育委員の会議・公民館運営審議会》 今年度から社会教育委員の会議と公民館運営審議会を一つに統合し、年2回の会議を開いた。公民館運営や行事について提言をもらうとともに、「井川町のスポーツ大会のあり方について」諮問に対し3月に答申を行った。</p> <p>《高齢者大学》 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開講を見送った。</p> <p>《移動公民館・いきいき町民セミナー》 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開講を見送った。</p> <p>《放課後子ども教室》 毎月放課後に英語・算数教室を前・中期課程の児童に向けて開催。また、夏休み・冬休みにはクリアポーチづくりやランプシェードづくりなどの体験活動を行った。地域学校協働活動推進員による工夫を凝らした教室開催により、多くの児童が参加している。</p> <p>《生涯学習奨励員の活動》 奨励員は10名委嘱。生涯学習奨励員会報誌「やまどり」を年3回発行。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった事業もあったが、年3回の定例会をすべて行ったほか、研修会や支援学校への訪問など、コロナ禍の中で積極的に活動した。</p> <p>《全町盆踊り》 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>	<p>評価なし</p>
	<p>地域の教育力向上への支援 教育力向上への支援</p>	<p>×家庭教育支援の事業が充実する。 ※昨年度と同様に、未就学児検診時の講座実施にとどまった。</p> <p>○公民館図書室の利用者数が増加する。 ※1月末現在で貸し出し冊数が1391冊で、昨年度同期の637冊を大幅に上回った。</p>	<p>《読書活動や家庭教育支援での学校等との連携強化》 家庭教育支援事業では就学時健診時に保護者16人を対象に家庭教育講座を実施した。</p> <p>《子ども教室の多様な講座や取り組みへの支援》 英語・算数教室では塾や学校で指導歴のある地域学校協働活動推進員が楽しく学べるように工夫した教室を開催。ものづくりが得意な推進員も多く、長期休みには工作をメインにした教室を開催し、多数の児童が参加した。</p> <p>《図書室の貸し出し数等と広報や展示の工夫》 1月末現在の公民館図書室貸出冊数は1,391冊、利用者数は507名で、昨年度に比べて冊数は719冊の増、利用者数は256名の増である。新刊図書は広報に掲載することで周知に努め、図書管理システムへのQRコードの周知を図り、検索等のオンライン利用件数も37,281件のアクセスがあり、今後も利用促進に勤め機能の拡充を図りたい。 また、図書展示コーナーも季節やイベント毎にポップやデコレーションし来場者に気軽に本を読んでもらう環境を整えた。</p>	<p>A</p>
		<p>課題と今後の方向</p>	<p>コロナ禍により多くの事業や行事が中止となる中、公民館図書室のリニューアルによって貸し出し冊数が倍増したり、子ども教室での多様なメニューを提供したりして、町民や子どもへの学習機会の提供の充実を図ることができた。</p> <p>来年度の事業や行事も中止になることも想定されるが、一昨年の社会教育委員の会議の提言を踏まえながら、満足度調査をきちんと行って町民のニーズに基づいた事業の展開を図っていきたい。</p>	

(3) 芸術文化の振興と文化財保護

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとづくり	郷土の歴史・文化の保護・継承・活用	×文化財継承の課題解決について方向性を出す。 ※予算化が必要であることから議論が開始されていない。	《歴史民俗資料館の利用状況と成果・課題》 2月末現在の来館者は70名で、昨年度よりも11名増となっている。今年度は特別展の開催はできなかった。 《学校と連携した伝統文化の継承と町民への啓発》 義務教育学校3年生「井川みらい学」で願人踊りと民謡手踊りの発表があった。学校での練習は保存会の方々が携わり本格的な体験となった。これによって、今戸で行われる願人踊りと手踊りに参加したいという児童が増加した。 《文化財保護審議会等での幅広い意見聴取と協議》 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開講を見送っているが、県の文化財保存調査事業へ井川町内の調査協力員として井川町文化財保護協会より選任していただき、調査を実施していただいた。	C
	芸術文化の振興	○芸術文化団体・サークルへの活動支援を充実させる。 ※例年通りの助成となったが、活動自体はコロナ禍で縮小している。	《芸術文化団体への助成等と成果》 今年度は芸術文化協会へ20万円の補助。「芸文井川」「芸文協だより」を発行。今年度もステージ発表が行えなかったが、昨年に引き続き町民作品展覧会を開催し、各団体から作品出展に積極的に協力をいただいた。今後も園会員を支援し活動を続けやすい環境をつくりたい。	A
課題と今後の方向			文化財継承の課題についてC評価となったことを重く受け止めた。文化財関係者からの意見聴取をもとにしながら、町長部局と協議を行い、調査事業を皮切りにして課題解決を図る必要がある。 芸術文化団体への支援については来年度も引き続き実施して、場所や情報提供などを充実させていきたい。	

(4) 生涯スポーツ

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとづくり	生涯スポーツの振興	×各種大会やイベントの満足度が向上する。 ※満足度調査を実施しなかった。今年度、大会の在り方について社会教育委員に諮問しており、改善案について年度末に提言予定。 ×組織の見直しで運営が活性化される。 ※今年度、社会教育委員に諮問しており、活性化案について年度末に提言予定。	《各種大会、チャレンジデー、自然ウォーク、井川マラソンの実施状況と成果》 町民体育大会、町民野球大会、井川マラソン、町民トレッキングは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。開催出来た自然ウォーキング、全町卓球大会、バレー・ソフトバレー大会、バスケットボール大会は十分な感染対策を行いながら開催できた。参加者からは、他の市町村のイベントが相次いで中止となっている状況で参加でき、貴重な活動の場となったとの声をいただいた。 卓球大会では、競技者のレベルに応じて区分を分けたほか、少しでも長い時間、卓球を楽しんでもらえるよう敗者同士の交流戦を行うなど、初心者でも参加しやすく、楽しめるよう配慮し行った。 《満足度調査の実施及び聞き取りによる事業改善》 満足度調査は実施せず。実施したスポーツ大会で、参加者の声を直接聞き取り、すぐできるところは臨機応変に運営してきた。	B
	課題と今後の方向			今年度、社会教育委員の会議からは来年度以降のスポーツ大会の在り方について基本的には継続しながらも改善を図らなければ維持は難しいとの答申をもらっており、合わせて提示された具体的な改善案について事務局内で検討しながら、効果のあるものから順に実施する方向で進めていきたい。

令和3年度 外部委員評価 (評価委員 石井昭廣氏)

(1) 学校教育

- ア 評価につづく「課題と今後の方向」は、評価を生かす最も大切な改善点と思われる。
- イ 人格の完成を目指す心身ともに健康な井川の子どもと評価できる。
- ウ 学力の資質としての心技体知、特に心の教育としての生活チェックと指導（あいさつ、奉仕、思いやり等）は社会の要請である。
- エ 家庭、保護者、町民の理解と協力が大切であるが、施策がみえる。
- オ 総合的学習の視点、特に副読本の制作と活用はよくできている。
- カ 児童生徒、教師、保護者の連携と調和を一層進めたい。

(2) 生涯学習

- ア 図書館など施設設備の活用、各種研修の機会が充実している。
- イ 行事等の中止に代わる手立ての工夫、広報、資料等による代替サポート、呼びかけも大切。
- ウ 対象年齢ごとのバランス、特に若年層の取り組みの点検、充実が望まれる。

(3) 芸術文化の振興と文化財保護

- ア 活動や利用については、さらに案内板や広報手段を活用してのPRも大切と思われる。
- イ 活動内容にそった予算担当を明らかにし、またその時間の生み出し方、方策の指導援助は欠かせないと思われる。
- ウ 団体、サークル人数の変化に沿って、入会や活動内容の工夫を援助することも大切とおもわれる。

(4) 生涯スポーツ

- ア 計画と実践はおおむね良好である。コロナ禍では予定中止の状況はやむを得ないと思われる。
- イ 時代や社会の変化に応じた行事の創意工夫がさらに要請されていると思われる。
- ウ 年齢のバランス、活性化の進め方、若者の多くの参加が求められる。未来に託すのは若い年齢層にしかできないという認識と実践が要請されている。

(5) 総合評価

- ア A評価段階が多く、目標はおおむね達成されていると思われる。
- イ 少子高齢化の進行は様々な課題を生じさせており、その変化への対応は地方ほど遅れがちである。急速な対応が求められる。
- ウ 社会の状況、特にオリンピックから学ぶのは、日本が平和であることのありがたさである。今一度共生と平等、バランスと調和の視点で、「楽しく助け合っている」「よく準備して正しくしている」「全体のつりあいがとれている」等、実践計画や実際の学習者、活動者、指導者の状況から、課題と今後の方向をとらえてほしい。